

第3学年1組 社会科学習指導案

常南の昔のお宝道具を見つけよう（15時間完了）

平成26年1月29日（水） 指導者 岩見 陽 場所 3年教室

1. 単元の構想

ESDの視点を生かした学区の教材化

今のわたしたちの生活は、便利過ぎるといっても過言ではない。食事の支度、風呂の用意、洗濯など、いまやスイッチ1つで全て行うことができる。利便性が高まるにつれて、子供たちが家事に携わる機会が減ってきている。さらに核家族化も進み、子供たちは、祖父母から昔の暮らしについて聞くことも少なくなってきた。そのために現在の生活の便利さに対する実感や、昔の暮らしと現在の生活との違いを意識することがほとんどない。昔の人々の生活にどのような工夫があったのか、そして現在の生活がどれほど進歩したものであるのかを認識できていないのである。幸いなことに本学区は歴史ある地域で、昔ながらの生活道具が残されている家庭もある。そこで、これらの昔の生活道具を追究する活動を通して、昔の人々の生活における工夫や努力に気付かせていきたいと考えた。学区にある昔の道具を見つけていく中で、子供たちは昔の人々の知恵に尊敬の念を覚えるだろう。こうした活動を通してESD概念の相互性を学んでいくことになる。また、地域の人への聞き取り調査を友達と協力して行う中で、連携性を学ぶことにもつながると考えた。

単元の流れ

単元の導入として、昔の生活を体験する機会を設ける。洗濯板を用いた洗濯体験を行うことで、古い道具に興味をもったり、昔の人の苦勞を感じさせたりする。昔の道具に関心が出てきたところで、「常南にある昔のお宝道具を見つけよう」と投げかける。子供たちは、他にどんな古い道具があるか家で探したり、父母や祖父母などに聞いたりするなど追究へと動き出すであろう。さらに、常南学区にある古い道具がある家へ見学調査に出かけ、実物を触ってみたり使い方を聞いたりして昔の生活についての認識を深めていく。また見つけたお宝道具のNO.1を決める話し合いをすることで、学区にある生活道具への価値付けを行っていく。子供たちは、こうした活動を通して、学区に住む身近な人々や伝えられている生活道具への愛着を抱いていくだろう。さらに子供たちの意識は、もっと多くの古い道具を知ることへと向けられるに違いない。そこで市美術博物館での見学を設定し、常南学区には残されていない生活道具の特性や特徴を把握させていく。様々な生活道具の使用目的や使用方法を学んだ後に、現在の生活と昔の生活を比べる活動を取り入れる。比較することを通して、子供たちは昔の人々の知恵や工夫に気付くと共に、現代の生活の素晴らしさを感じていくだろう。そして単元のまとめとして昔の生活道具の使用目的や使用方法をまとめた「昔のお宝道具ポスター作り」を行い、それをポスターセッションの形で多くの人に発信させていきたい。

育みたい力

- 昔の生活道具の名称や使用目的・使用方法について理解することができる。（事実を的確に把握する力）
- 昔と今の生活道具を比べ、生活の様子の違いや当時の人々の知恵や工夫・努力について考えることができる。（物事を関係付けて考える力）
- 古い道具の使い方を体験したり、美術博物館などで昔の暮らしの様子を見学したりして、分かったことや自分の考えを、絵や文章で分かりやすく表現することができる。（コミュニケーションを行う力）
- 昔の生活道具の特性や特徴を分かりやすくまとめたポスターを活用して、昔の道具のよさを伝えようとするすることができる。（行動しようとする力）

2. ESDチェックシート

持続可能な社会づくりの概念			育みたい力		
I もの・人のつながり（相互性）	つながり	◎	①事実を的確に把握する力	把握力	◎
II 未来をつくる私たち（責任性）	未来	○	②物事を関係付けて考える力	関係力	◎
III 限りある自然環境（有限性）	自然環境		③解決策を考える力	解決力	
IV 公平な社会（公平性）	公平		④コミュニケーションを行う力	伝達力	◎
V 他との協力（多様性・連携性）	協力	◎	⑤行動しようとする力	行動力	◎

3. つながり学習の計画

段階	学習課題	学習内容	時間	ESD の視点
知る	・洗濯板を使って洗濯名人になろう	・洗濯板を使った洗濯体験 ・昔と今の洗濯の比較 ・昔の道具への興味付け	1 本時	つながり 把握力 行動力
	・常南学区にある昔のお宝道具を見つけよう	・家や近所にある古い道具調べ ・古い道具を知る人への聞き取り	随時	つながり 把握力
		・学区に現存する古い道具（農機具・生活用品など）の見学調査 ・道具の使い方や使う工夫の聞き取り ・道具のすごさ見つけ	5	つながり 協力 把握力 関係力
	・常南の昔のお宝道具のすごさをまとめよう	・それぞれの道具の特徴・特性 ・道具の便利さ	1	つながり 把握力
考える	・常南学区にある昔のお宝 NO.1 を考えよう	・道具の用途や使用法の明確化 ・昔の生活の工夫への気付き ・昔の道具に対する価値観の形成	1	つながり 未来 関係力
	・市美術博物館でもっと多くの古い道具を見つけてみよう	・市美術博物館での見学 ・新たな古い道具を把握	2	つながり 把握力
	・今と昔の生活の違いを比べてみよう	・現代と30年前の生活の違い ・現代と60年前の生活の違い ・生活の利便性の向上の把握	1	つながり 関係力
行動する	・昔のお宝道具の紹介ポスターを作ろう	・昔の道具を紹介するポスター作り ・昔の道具の特性や工夫を明確にしたまとめ	2	協力 伝達力 行動力
発信する	・昔のお宝道具ポスターセッションをやる	・昔のお宝道具を全校児童に紹介 ・道具の特徴を分かりやすく説明	2	協力 伝達力 行動力

(1) 目標

- ・洗濯板を用いての洗濯体験を通して、洗濯板の工夫について気付くことができる。(事実を的確に把握する力)
- ・洗濯という日常生活を比較し、現代のくらしと昔の生活との違いについて考えることができる。(物事を関係付けて考える力)

(2) 準備

- ① 児童 ・筆記用具
- ② 教師 ・洗濯板、たらい、汚したTシャツ、ブラックボックス、学習課題短冊、昔と今の洗濯の様子絵、ワークシート、炭火アイロン



(3) 児童の実態


本学級の児童は男子6名、女子7名の計13名で構成されている。今年度の社会科学習では、学区の町学習を、総合的な学習では、学区の新興住宅地エコタウン、志賀牧場の学習をし、町とのかかわりは深まっている。遠方から引っ越してきた児童も多く、昔の道具に見たり触れたりした経験が少ないと予想される。また、父母や祖父母も若く、昔の道具について聞くことも少ないであろう。

本時では、昔の生活用品である洗濯板を見せ、使う体験を通し、思ったことをのびのびと発表したり、洗濯における昔と今の生活の様子の違いや当時の人々の知恵や工夫について考えさせたりしたい。洗濯板のすごさに気付き、昔の道具に対する関心を高め、もっと他の道具も調べてみたいという思いを育み、次時の活動につなげていきたい。

4. 本時の学習指導

(4) 展開

段階	児童の活動	教師の活動
指向 4分	<p>1 箱の中身は何でしょうクイズをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 木の板みたい 何に使うものかな でこぼこしている 野菜を切る板かな せんたく板だよ 	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯板をブラックボックスに入れておき、代表児童に触らせることで、興味を高める。 洗濯板を箱から出し、名前を知らせる。 洗濯板を使う人の絵を黒板に貼り、ひいおばあちゃん頃(60年~80年前)の人が使っていたことを知らせる。 児童の活動意欲を高めるために「洗濯に挑戦して名人になってみよう」と呼びかける。 
問題 1分	<p>2 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">洗濯板を使って洗濯名人になろう</div>	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題を書いた短冊を黒板に貼る。
究明 ① 28分	<p>3 洗濯板で洗濯体験をする。</p> <p>【板の使い方】</p> <ul style="list-style-type: none"> どんなふうに溝に布を当てるといいのかな 溝はどうして曲がっているんだろう 石けんをとるすぎが上手くできないな <p>【洗い方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 布をもむようにするといい感じ 水がどんどん汚くなる。どうすればいい 上から下へ動かすと汚れが落ちる気がする <p>4 見つけた洗い方を発表する。</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">  <ul style="list-style-type: none"> 板がへこんでいるから洗いやすい へこんだところにあわがたまった よごれがきれいに落ちた 布を上下にもみながら動かすといい 溝のへこみを上にすると、すぎが楽 </div> <div style="flex: 1;">  <ul style="list-style-type: none"> あらった後にしぼるのが手だから、たいへんだった 板がかたくて手にあたると痛い ずっとすわっているから足腰が痛くなる 冬は水が冷たいからつらそう 洗濯物がたくさんあると時間がかかるし、体がつ </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の活動目的を高めるために「洗濯板を使って上手に洗う洗い方を見つけよう」と投げかける。(つながり・把握力・行動力) 体験する場所や物を教室の後ろに事前に準備しておく。(3人グループで4か所、Tシャツは個々) 全員が洗濯を体験できるように時間を十分に確保する。 体験中は各グループを巡視しながら、体験中の気持ちを引き出したり、板や水の様子に注目させる言葉かけをしたりする。 「どのように洗うとうまく洗えましたか」と尋ねる。 友達の意見を視覚的に共有できるようにするために、視点となる絵を黒板に貼っていく。 児童の発言内容を整理するために、「人の気持ち」「板の使い方」に分類しながら板書する。 昔の道具の工夫に迫るために「へこんだところにあわがたまる」など事実のみに着目した意見が出た場合は、「どうしてだと思いますか」と問い返す。 昔の生活の不便さを認識させるために「洗濯板をつかった洗濯をやってみて、どう思いましたか」と尋ねる。(つながり・把握力) 昔の人の知恵に迫らせるために、児童の洗濯板に対する否定的な意見が集中した場合「洗濯板のすごいところはありましたか」と切り返す。


<p>究明 ② 10分</p>	<p>5 今の洗濯の様子絵を見て、人々の暮らしほど のようにかわったか考え、発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 今の洗濯のよいところや悪いところを考えよう </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○スイッチをおせば、機械が全部やってくれるから人は楽 ○手がぬれなくていい ○お父さんでもやれる ○立ってやれる ○一度にたくさん洗える ○機械がやるから、時間が節約でき、ほかの仕事ができる △洗濯機を買うお金はかかる △電気代はかかる </div> 	<ul style="list-style-type: none"> ・今の洗濯の様子絵を黒板に貼る。 ・「洗濯板と比べて、今の洗濯機のよいところや悪いところは何か？」と発問する。(つながり・関係力) ・考えをまとめる時間を児童に与えるために、ワークシートを配布し、書くように指示する。 ・「ボタンを押すだけで機械がやってくれる」など事実のみに着目した意見が出た場合は、「そのことについてどう思いますか」と問い返す。 ・洗濯機が洗濯板を使用した時の苦勞を解消しているという人々の知恵に気付かせるために、対立した板書意見(冬は水が冷たいからつらそう)に対して「手がぬれなくていい」などを赤矢印で結ぶ。
<p>整理 2分</p>	<p>6 次時の予告を聞く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・何だろう？見たことないな ・もっと知らない昔の道具があるのかな ・たくさん昔の道具を見つけないな ・ぼくのおばあちゃんなら知っているかも </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・他の古い道具への興味を喚起するために、炭火アイロンを提示し「これは何に使うものでしょう」と問いかける。 ・児童の追究意欲を高めるために「次時は常南学区にある昔のお宝道具を見つけていこう」と投げかける。

(5) 評価


- ・洗濯板が溝の曲がり具合によって、洗濯の作業を効率化できるしくみになっていることに気付くことができたか。—活動4, 5の発言から—
- ・洗濯体験と現代の洗濯の様子を表した絵との比較から、昔と現代の生活の違いについて考え、昔の道具への興味、関心を持つことができたか。—活動5, 6の発言や活動6 ワークシートから—

(6) 板書計画


せんたく板を使ってせんたく名人になろう




ひいおばあちゃん
のころ



板



人



今

《今のせんたく機のよいところ悪いところ》

- ・板がへこんでいるから洗いやすい
- ・へこんだところにあわがたまった
- ・よごれがきれいに落ちた

- ・あらった後にしぼるのが手だから、たいへんだった
- ・板がかたくて手にあたると痛い
- ・ずっとすわっているから足腰が痛くなりそう
- ・冬は水が冷たいからつらそう
- ・せんたく物がたくさんあると時間がかかるし、体がかれそう

- ・スイッチをおせば、機械が全部やってくれるから人は楽
- ・手がぬれなくていい
- ・お父さんでもやれる
- ・立ってやれる
- ・一度にたくさん洗える
- ・機械がやるから、時間がせつやくでき、ほかの仕事ができる
- △せんたく機を買うお金はかかる
- △電気代はかかる